

(様式2)

## 議員行政視察報告書

議員名	駒木おさみ
視察地	福岡県福岡市
視察年月日	令和6年1月15日(月)
視察内容(目的・具体的内容・成果等)	
ワンストップ型母子支援拠点施設整備について	
思いがけない妊娠の不安や悩みを一緒に考えサポートする専門施設です。	
【ご対応ご説明下さった担当者】	
産前・産後母子支援センター こももティエ	
センター長 瀬里 徳子 様	
コーディネーター 満生 襟可 様	
令和2年から運営が開始になり、相談無料、匿名、秘密厳守の支援。産前から産後、自立支援まで切れ目のない支援を実施されています。予期せぬ妊娠、若年層の孤立、育児の困難が予測される特定妊婦を早期に支援体制が生まれ安心へと寄り添う事業内容。事業内容は、4つに分類されております。	
①妊娠SOS相談窓口、電話、メール、LINE	
②居住支援に、居場所を提供、産前産後(原則6か月以内)を支援	
③アフターケアに、訪問、連絡、就業支援	
④妊娠訪問支援に、訪問、同行、情報提供	
日本財団と作成された手のひらサイズのカードには以下の項目がありました。	
○妊娠していることを誰にも相談できない	
○病院に行くお金がない	
○ひとりで病院や手続きに行くお金がない	
○妊娠したけど、パートナーや家族から反対されて	

○中絶時期を過ぎてしまった

相談は、令和2年122ケース、令和4年554ケース、延べ対応件数は3248件全国から寄せられ、増加傾向であります。10代が多く大半が女性だが、男性の相談も増えてきています。

母体保護、養育支援のみならず、サポートチームがいる同じ建物内で生活し、家事支援もともにしながら、利用者が戸惑いながらも未来へ歩いていくことに話を聴きながら、寄り添いながら支援されています。

全国から寄せられる相談内容や行政等との調整、性教育の課題などを学ばせて頂きましたが、特に、若年層の相談の入り口はLINEなどが求められることを痛感しました。

携帯代が支払えないなど生活困窮なことも背景にあり、Wi-Fiスポットから無料で繋がるLINE相談が増加傾向です。本市もLINE相談が始まる事業もありますことから、相談窓口は、敷居を低くすることで「ひとりで悩まない」誰一人取り残さない社会の構築につながるものと感じます。

産前産後の専用室は陽ざしがあたたかくて、自立支援から就労が決まった後も利用者さんが訪れる居場所です。施設長はじめ職員の皆さまから学ばせて頂きましたことを活かしていきたいと思えます。

(様式2)

## 議員行政視察報告書

議員名	駒木おさみ
視察地	福岡県久留米市
視察年月日	令和6年1月16日(火)
視察内容(目的・具体的内容・成果等)	
文化交流施設・久留米シティプラザの取組について	
<b>【ご対応ご説明下さった担当者】</b>	
久留米市 市民文化部 久留米シティプラザ 担当次長	陣内 孝敏 様
久留米市 市民文化部 久留米シティプラザ 総務課 課長補佐	末次 智 様
久留米市 市民文化部 久留米シティプラザ 総務課 主査	田中 元英 様
<p>久留米市の概要は、安心して暮らせる街として医師数は全国1位。救急搬送全国最短レベル。ものづくりの街として世界のブリヂストン発祥の地であり買い物・食・自然が揃ったまちと酒造所数は全国3位、豚骨ラーメン発祥の地としても有名。本市と似た特徴があります。</p> <p>文化施設整備の背景には老朽化と医療や高等教育機関が集積しながらも、学会等の受け皿となる施設がなく、中心市街地の求心力が著しく低下しており、九州では福岡市のひとり勝ちでした。若い人たちが商店街に来なくなり、福岡市に流れることが懸念されていました。</p> <p>久留米シティプラザは、基本機能として、1階の外周部に9区画の商業施設を備え、賑わい拠点として約1300㎡の広場を全天候型にしており、安定したイベント開催が可能となりました。ザ・グランドホールは座席数が1,514席あり、客席最後列から舞台まで約30メートルと近く、クラシック、オペラ、ミュージカル等の高品質な鑑賞公演や舞台に対応できる音響性能を有しています。399席収容の久留米座は演劇を主目的とし花道や仮設能舞台も設置可能で日本の伝統芸能にも対応可能です。144席収容のCボックスはリハーサルや練習などの催しが可能です。</p> <p>展示室や会議室、長盛(和室)、アートユニットで大人気の絵本作家ツペラツペラがプロデュースした多世代交流スペースがあります。</p> <p>平成28年4月開館後、コロナ禍で稼働率は落ち込み回復傾向にはあるが、以前の稼働に戻るには少し時間を要すると考えられます。課題はアウトリーチなどの普及活動の充実、専門的技術を有する人材の確保、育成があります。確実にポテンシャルは上がってきているのでリピーターを増やしたいところです。</p> <p>本市においては、文化会館建て替え計画があるが、文化振興にご尽力されている方々の要望反映と調整が必要です。特に楽屋とトイレの数を増やしてほしいとの声は多くあります。老朽化が進む施設であるため安心安全にご利用いただくため、建て替え計画と多世代の交流の場や市街地活性化として周辺エリアを含めた持続可能な検証を行うことが大切であると思っております。</p>	

(様式2)

## 議員行政視察報告書

議員名	駒木おさみ
視察地	宮崎県宮崎市
視察年月日	令和6年1月17日(水)
視察内容(目的・具体的内容・成果等)	
-----	
グリーンスローモビリティの活用について	
<b>【ご対応ご説明下さった担当者】</b>	
宮崎市 都市整備部 まちづくり課 課長 増田 和弘 様	
宮崎市 都市整備部 まちづくり課 企画係長 日高 和哉 様	
<p>グリーンスローモビリティは、グリーントランスフォーメーションと地域脱炭素の推進と世界環境の大切な取組です。全国的にも、観光客の消費拡大や地域活性化を推進するなかで、実証実験から導入が進められています。</p> <p>導入の検討では、イメージがわからず渋滞発生が懸念材料になり、実証調査では基本左折走行で進めました。県内最大の中心市街地を時速20キロメートル以下の低速走行であることで、グリスロ運行の検討に苦慮したが、商店街の後押しもあり令和2年に本格運行を実現しました。</p> <p>運行エリアは中心市街地で、乗客定員9人で2台を導入し活性化へと動き出しました。「ぐるっぴー」、愛称の由来はぐるぐる回り、かわいらしく親しみやすくするために「ぴー」をつけ、子どもからお年寄りまで呼びやすい愛称として命名されました。</p> <p>導入後すぐにコロナ禍で運休期間後も利用者は減少したが、ターゲットを子どもに絞り小学生は無料に。車内のレイアウトも風船など明るいイメージに変え、期間限定で工夫するなど、ずっと乗車していきたい孫や子供のためにと世代を超えて賑わいが戻ってきました。全国で3番目に導入したが、乗車料金1回100円で、乗り降りは自由です。実際に乗車した時に目を引いたのは広告です。29社の広告がステッカーサイズで並ん</p>	

でいました。小さな車体に大きな期待を乗せてぐるっぴーに手を振る子供たちに運転手は手を振り返していました。現在までクレームはないとのことでした。

更なる期待を感じると同時に、持続可能な街づくりに挑戦中です。

本市においては、導入を想定したとき、交通人員不足が深刻さを増しているが、国内外観光客向けの案内表示を運行区域内の数各所にデジタルサイネージを活用し滞在型観光、外出機会を創出できる工夫も必要と考えます。また通勤や中心市街地での交通機関による移動を躊躇していた市民の利便性向上にも繋がり、流動性から活気と経済効果も期待できます。

全世代が親しみやすく乗りたくなる「アサスロ」などの名称募集やデザイン都市旭川らしさが光る車体ペイントなどの発想と、グリーンスローモビリティ車内にスポンサー広告も取り入れるなど、導入を試験的に運用していく価値はあると考えます。ゼロカーボンシティ旭川を前進するためにも SDGS の視点からもあらゆる可能性を取り入れ調査研究を進めるべきと考えます。